

校長室から

ひがしなら通心

2019 (H31) 年度 茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 1

平成31年4月8日(月)発行

新学期に実践したい三つのこと

新学期は、新しいクラスで友だちができるか、楽しく過ごせるか、期待と不安でいっぱい時期だと思います。以前、小学生新聞に「どんな人と友だちになりたいか」という、アンケートの結果が載っていました。それによると、ベスト3は「明るい人」「優しい人」「相談にのってくれる人」でした。そんな人がクラスにいたらいいな、とたくさんの方が思っていることがわかります。

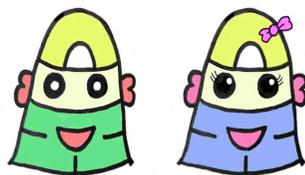
さて、友だちができるにはどうしたらよいかを考えさせてくれる物語があります。それは、劇作家の眞山美保さん原作の『泥かぶら』です。

その昔、ある村に「泥かぶら」と呼ばれる一人の少女がいました。一人ぼっちの「泥かぶら」は、みにくいから、きたないからとみんなからバカにされ、人をうらんで乱暴になるばかりでした。そんな「泥かぶら」に、旅の老人が教えてくれたのです。三つのことを守れば、きっと美しくなれる」と。その三つとは、「自分のみにくさを恥じないこと」「どんなときもにっこり笑うこと」「人の身になって思うこと」。少女はその教えを実践することで、友だちができ、人のために働くことで感謝されるようになり、気持ちの優しい人気者に成長していきました。そして少女の優しさは、やがて恐ろしい人買いの心も動かすことになるのです。

この物語のなかの三つの教え、「自分のみにくさを恥じないこと」は、「どうせ自分なんて」と思わず明るい気持ちで過ごすという意味です。「どんなときもにっこり笑うこと」は、まわりの人に対して優しく温かい気持ちで接することです。そして「人の身になって思うこと」は、相手が困っているときに親身になって考えるということ。実はこの三つは、「友だちになりたい人」のアンケート結果とほぼ同じであることがわかります。

新学期、ぜひこの三つの教えを実践してみませんか。きっとすてきな1年間のスタートを切ることができると思います。

本校のイメージキャラクターを知っていますか？
東奈良遺跡から出土した銅鐸（どうたく）にちなんで、左を「どうたくん」右を「たくよさん」と言います。校内のどこかにいますので、探してみてください。見つけたら、教えてください。



東奈良小の「ひ・が・し・な・ら」

平成31年度の新学期がスタートしました。子どもたちは、新しい教室で、新しい先生や友だちと新たな気持ちで頑張ろうと思っています。本年度も学校教育目標である

「自ら考えて、進んで行動する子どもの育成」

の具現化に向けて、教職員一同がんばっていく所存です。
さて、本校の期待される学校像は、次の通りです。

「児童にとって楽しい学校」

「教職員にとって活力ある学校」

「地域にとって開かれた学校」

- Change 学校を 子どもを変えていく
- Challenge 魅力ある教育課程を編成し、
創意工夫ある教育活動の実施
- Chance 学校・地域・家庭との連携を深め、特色ある教育の推進

この具現化に向けて、昨年「ひ・が・し・な・ら」で言葉を作りました。

「ひ」とつにみんなでまとまろう！

- 学級、学年、学校が大好きな子 → **愛校心** の醸成

「が」くりよくと体力をのばそう！

- しっかり学習する子 → **学力** と **体力** の向上

「し」っかり生活しよう！

- 掃除や係活動など、何事にも一生懸命取り組む子 → **自分力** の成長

「な」かよく友だちとすごそう！

- 友だちを大切にする子 → **コミュニケーション力** の育成

「ら」んらん 夢に向かう 東奈良っ子！

- 夢に向かって努力する子 → **ゆめ力** の達成